対日高等 21004	————— 有明	工業高等	 専門学校	5	 開講年度	令和02年度 (2	 2020年度)	授	業科目	雪気雷子	工学基礎		
投票			ען ננודר		<u> </u>		-020 - 1 <u>x</u>)				工了全观		
投票			21004			科目区分	国区分 専門 / 必修		<u> </u>				
部込明 独別 扱用 扱用 扱用 扱用 接触 接触 担当対策 担当対策 担当対策 投票 技術 技術 技術 技術 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大						単位の種別と単							
製料書類教材 配面解別 全神太郎原 面部 到達目標				学科(情報	吸システムコ	ース)	対象学年		2				
理当報日 選挙日報				,	,				後期:1				
理当報日 理想のは対する。 で表現の大学の機能的な内容に関して、実験を通して学ぶ。 ・実験機合の使用が表音音句は3. ・実験機合の使用が表音音句は3. ・実験機合の使用が表音音句は3. ・実験機合の使用が表音音句は3. ・実験機合の使用が表音音句は3. ・実験機合の使用が表音音句は3. ・実験機合を持つを、可ります。		 (材	配布資料	4,安全	:の手引き				1				
		., -											
・電気電子工学の基礎的な内容に関して、実験を適して学ぶ・ ・実験特徴の関連と答音する。 ・実験特徴の関連とでは、できないでは、 ・実験特徴の関連とでは、できないでは、 に関して関係できないでは、 に関して関係できないである。 ・実験ができないでは、 に関して関係できないである。 ・実験ができないでは、 に関してはかできない。 ・実験ができないでは、 に関してはができない。 ・実験ができないでは、 ・実験ができないでは、 ・実験ができないでは、 ・実験ができないできないでは、 ・実験ができないできないでは、 ・実験ができないできないでは、 ・実験ができないできないでは、 ・実験ができないできないでは、 ・実験ができないでは、 ・実験ができないできないでは、 ・学科の到達目標項目との関係 学学科の到達目標項目との関係 学学・教育到速度程度 B-1 教育方法等 概要		 垂	1300 31000		,,,,,								
現場的な到達レベルの目数 標準的な到達レベルの目数 標準的な到達レベルの目数 表別達レベルの目数 表別達してして実験ができる。 実験報告書を正しい書きらい。 実験報告書を正しい事態の基礎知識に関して理解 直流回路の基礎知識に関して理解 直流回路の基礎知識と密視する場合して位置づけられる。また、実験報告書のにしい予成方法についても 表別を支援を対象を記録といるので注意すること 表別を対象的大規律会となるので注意すること 実験報告書の担立が開発を過ぎた場合は、その実験報告書のお数はの点となる。また、実験報告書が未提及表別を計画 規選内が未規律会となるので注意すること 表別を使用し、単立との別達目標 過ごとの別達目標 日本の記書 表別を使用し、単位と発表の書き方を設す 表別を使用し、単位と発表の過ごを表別を検討し、正しい実験報告書の書き方を設する。 表別を使用し、単位と表別を使用し、単位を表別を検討していて理解する 表別を使用し、単位と表別を使用し、単位と表別を使用し、単位と表別を使用し、立てきる。 表別を使用し、単位と表別を使用し、立てまるの表別を使用し、立てまるの表別を使用し、立てまるの表別 表別を使用し、単位を表別を使用し、立てまるの表別を使用し、立てまるの表別を使用する表別を使用し、ことできる。 表別を使用し、といて理解する 表別を使用し、単位と表別を使用し、立てまるの表別を使用し、立てまるの表別を使用し、立てまるの表別を使用し、立てまるの表別を使用し、立てまるの表別を使用し、立てまるの表別を使用し、を理用すると表別を使用し、といて理解する 表別を使用し、といて理解する 表別を使用し、はんだごてを使用し、検討を表別といて理解する 表別を表別を使用し、はんだごとを使用し、検討を理解する ま記を使用し、はんだごとを使用し、はんだごとを使用し、はんだごとを使用し、を理用を使用した。 ま記を使用し、といて理解する ま記を使用し、といて理解する ま記を使用したいで解する ま記を使用したいで解する ま記を使用したいで理解する 表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	・電気電 ⁻ ・実験機	- 子工学の基礎 器の使用法 ²	を習得する.		, 実験を通し	して学ぶ.							
理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 表到達レベルの目安 電気電子工学の基礎的な内容に同じて上来験ができる。			J C L 113 J	<u>. </u>									
報金電子工学の基礎的な内容に関 に関して建設ができる。 であった。 であ				理想的な到達レベルの目安標準的な到達レバルの目安に				ベルの目安 未到達し			ベルの目安		
評価項目(2)	評価項目(1)				電気電子工学の基礎的な内容に関 電気電子コレて正しく実験ができ、その理論 エスエン							な内容に関	
でき。回路計算に応用できる。	評価項目(2)				実験報告書を正しい書き方に従っ て作成でき、自分で考えた考察を 示すことができる. 実験報告書を, 1				作成できる	実験報告	書を作成・提	出できない	
	評価項目(3)				直流回路の基礎知識に関して理解 でき、回路計算に応用できる. 直流回路の基礎: できる.				関して理解			関して理解	
				划係									
概要			票 B-1										
接換の進め方・方法 電気電子工学基礎と連続で授業を実施する、実験を主体として授業を進める。		広寺	電気電気電気電気	子工学の	基礎となる電気の	電気諸量の測定方法。 まる場として位置づ		目は, 3	3年生以上で	取り組む実	三験や,専門科	 料目修得のた ぶ	
実験報告書の提出が期限を過ぎた場合は、その実験報告書の点数は0点となる。また、実験報告書が未提し 授業計画	授業の進む	 め方・方法					·			-1 Lいか/ 7 1万/	こンいてロ子		
週 授業内容 1週 授業内容 1週 1週 10週 (投業全般、安全教育、実験の説明、実験報告書 1週 の書き方について)			実験報告	告書の提	出が期限を過	過ぎた場合は, その	実験報告書の点数			,実験報告	言書が未提出の)場合には	
1週 説明(授業全般、安全教育、実験の説明、実験報告書 の書き方について) 2週	授業計画	Đị.	_	_									
2週 の書き方について)			週	授業内	容			週ごと	の到達目標				
2週			1週	説明(の書き	説明(授業全般,安全教育,実験の説明,実験報告書 の書き方について)								
3개dQ 実験報告書の作成 正しい実験報告書の作成法を習得する. 12月			2週	直流電圧・電流の測定 (抵抗器の取扱い)				電圧計,電流計を使用し,直流電圧・電流の測定ができる. (抵抗器を使用し,電圧と電流の関係を理解できる.)					
3rdQ 15週 抵抗器の取扱い (億流電圧・電流の測定) 「抵抗器を使用し、電圧と電流の関係を理したできる。			3週	実験報	告書の作成								
3rdQ 5週 抵抗器の取扱い (直流電圧・電流の測定)			4週	実験報	8告書(2週目	目分)の返却と確認)		採点された報告書の内容を確認し,正しい内容(する.正しい実験報告書の書き方を習得する.				内容に修正 る.	
後期 実験の説明,電気回路の基礎知識 次週から取り組む実験について理解する基礎知識について理解する基礎知識について理解する。 7週 オームの法則 実験を通してオームの法則を理解できる回路を組むことができる。 8週 ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および小テストを含む) はんだごての使用法について、工具を正しく使用するため、工具の使用法について、実験の説明) はんだごて、工具を正しく使用するためは、大工具の使用法について関する。次週から取り組む実験について関する。次週から取り組む実験について関する。次週から取り組む実験について関する。次週から取り組む実験について関する。次週から取り組む実験について関する。次週から取り組む実験について関する。次週から取り組む実験について関する。次週から取り組む実験について関する。次週から取り組む実験について関するできる。 11週 テスター製作 回路素子を正しく配置し、はんだ付けをたデスターの基本動作が正常であること様々な値の電流、電圧および抵抗値を測一の正常動作を確認する。 13週 ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および小テストを含む) ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および小テストを含む) 15週 ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および小テストを含む) ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および小テストを含む) 16週 予備日 サイダンス・できむり モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標の類はに関する方面は、対していていて、対していて、対していて、対していて、対していていていて、対しないでは、対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい		3rdQ	5週			の測定)	抵抗器を使用し、電圧と電流の関係を理解できる ・ (電圧計、電流計を使用し、直流電圧・電流の測定						
後期 オームの法則 実験を通してオームの法則を理解できる。回路を組むことができる。 8週 ガイダンス(安全教育, はんだごての使用法について (はんだごて、工具を正しく使用するためする。次週から取り組む実験について理し、工具の使用法について, 実験の説明) はんだごてを使用し、練習用基板上に正けができる。 11週 テスター製作 回路素子を正しく配置し、はんだ付けをたデスターの基本動作が正常であることを表することを表する。 12週 テスターの校正 様々な値の電流, 電圧および抵抗値を測つ正常動作を確認する。 13週 ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および 小テストを含む) 14週 ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および 小テストを含む) 15週 カイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および 小テストを含む) 16週 予備日 モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 分野 学習内容 学習内容の到達目標 グ類 ク野 学習内容の到達目標			6週	実験の	実験の説明, 電気回路の基礎知識				次週から取り組む実験について理解する。直流回路の				
			7週	オーム	の法則					ムの法則を	 を理解できる. 簡単な直流		
10週	後期		8週	ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および									
11週		4thQ	9週	ガイダ , 工具	ブンス(安全教 の使用法に	教育, はんだごての ついて, 実験の説明	育,はんだごての使用法についてはんだごて,工具を正しくいて,実験の説明) はんだごて,工具を正しくする.次週から取り組む実						
4thQ 12週 テスターの校正 たテスターの基本動作が正常であること 様々な値の電流,電圧および抵抗値を測 の正常動作を確認する. 13週 ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および 小テストを含む) がイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および 小テストを含む) 15週 ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および 小テストを含む) 16週 予備日 モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 分類 分野 学習内容の到達目標 分類 グ野 学習内容の到達目標			10週						はんだごてを使用し,練習用基板上に正しいはんだ付けができる.				
4thQ 12世 ケスターの検出 一の正常動作を確認する. 13週 ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および 小テストを含む) 14週 ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および 小テストを含む) 15週 ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および 小テストを含む) 16週 予備日 モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 分類 分野 学習内容の到達目標 到達レベノ			11週	テスタ	テスター製作				回路素子を正しく配置し, はんだ付けを行う. 作製したテスターの基本動作が正常であることを確認する.				
15週 小テストを含む)			12週	テスタ	アーの校正					抵抗値を測定	ひ, テスタ		
14回 小テストを含む)			13週			回路の基礎知識に関	する演習および						
15元 小テストを含む) 16週 予備日 モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 分類 分野 学習内容の到達目標 到達レベル			14週	小テス	(トを含む)								
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 分類 分野 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベル			15週	ガイダンス(電気回路の基礎知識に関する演習および小テストを含む)									
分類 分野 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベノ			16週										
分類 分野 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベノ	モデルニ	コアカリ=	キュラムの	 D学習[内容と到達	 目標							
											到達レベル	授業週	
5.7-5.7-5.7-5.7-5.7-5.7-5.7-5.7-5.7-5.7-			1.5-3									後2,後7	
専門的能力 分野別の専 電気・電子 系分野 電気回路 オームの法則を説明し、電流・電圧・抵抗の計算ができる。 2	専門的能力	カ 分野別の門工学	の専 電気 系分野		電気回路			・抵抗の	の計算ができ	きる。		後5,後7,後 8,後13,後 14,後15,後 16	

	ム殿団の	- 電気・電	 :子	電気・電子 系【実験実 習】	電圧・電流・電力などの電気諸量の測定が実践できる。					後2,後7	
	分野別の 学実験・ 習能力	電気・電系分野【 系分野【 験・実習 力】	実能		電気・電子系の実	3	後1,後9,後 10,後11,後 12				
評価割合											
	試験		発	表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他		合計	
総合評価割合	à 0	0			0	20	80	0		100	
基礎的能力	0	0			0	20	10 0		30		
専門的能力	0	0			0	0	70 0		70		
分野横断的能	力 0	0 0			0	0	0		0		